

実施日	
-----	--

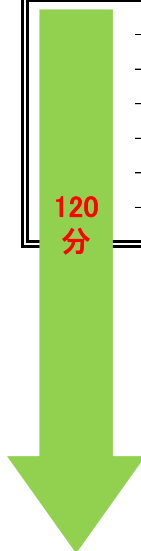
患者番号	性別	身長	cm	指示医
カナ氏名	生年月日	体重	kg	
患者氏名	年齢	体表面積	m ²	

Rp) ベバシズマブ(アバスタ)	5mg/kg	day1	
レボホリナート(アイソボリン)	100 mg/m ²	day1,2	
フルオロウラシル(5-FU) : bolus	400 mg/m ²	day1,2	
フルオロウラシル(5-FU) : 持続	1200 mg/m ²	day1~2	
オキサリプラチン(エルプラット)	85 mg/m ²	day1	2週毎

※インフューザーを停止する

本管①	Day2
大塚糖液5% 250mL	1 袋
レボホリナートカルシウム	mg
アイソボリン点滴静注用100mg:	
アイソボリン点滴静注用25mg:	

レジメンコメント1
レジメンコメント2



側管①	レボホリナート終了時5分かけて
【50mL】生理食塩液50mL	1 瓶
フルオロウラシル	mg
5-FU注1000mg:	
5-FU注250協和 250mg:	

★ベバシズマブ投与期間中、以下の初期症状に注意すること
 (※緊急対応を要する副作用の可能性)
 ・突然起こる強い腹痛
 ・下血
 ・突発性意識障害、神経障害、頭痛、嘔気嘔吐、めまい
 ・胸痛(胸部圧迫感)
 ・呼吸困難、咳嗽
 ・下肢の腫脹、疼痛、色調変化
 ・急激又は著しい血圧上昇

※インフューザーを再開する

<実施時の注意>

漏出時(オキサリプラチン、フルオロウラシル)
 :直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。オキサリプラチン投与時は寒冷刺激により末梢神経障害が誘発されるため患部の冷却は避ける。

- オキサリプラチン
アルミニウムとの接触により分解するため調製時あるいは投与時にアルミニウムが用いられている機器(注射針等)は使用しないこと。
- フルオロウラシル
TS-1投与中もしくは投与中止後7日以内→投与不可
- ベバシズマブ
高血圧があらわれることがあるので、投与期間中は血圧を定期的に測定し、適切な処置を行うこと。
蛋白尿があらわれることがあるので、投与期間中は尿蛋白を定期的に検査することが望ましい。

<注意すべき副作用>

- 過敏症 ●食欲不振、吐き気 ●口内炎 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など) ●手足のしびれ
- 白血球減少 ●赤血球減少(貧血) ●血小板減少 ●肝機能低下